

令和5年度
日章学園
鹿児島育英館中学校
入学試験問題

国語

(時間45分)

(注意)

- 1 「始め」の合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。
- 2 問題は10ページあります。解答用紙は1枚です。
- 3 「始め」の合図があったら、まず解答用紙に受験番号、小学校名と氏名を記入しなさい。
- 4 答えは、必ず解答用紙に記入しなさい。
- 5 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげなさい。問題内容や答案作成上の質問は認めません。
- 6 「やめ」の合図があったら、すぐ筆記用具を置き、解答用紙だけをうら返しにして、机の上に置きなさい。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

(1) 思考を深める際にまず大切なのは、自分に引きつけて考えることです。

文章を読んで「そういう意味か、なるほど」と言って終わらせるのではなく、「これは自分の場合の何にあたるだろう?」「自分だったらどうだろう?」と考えるのです。

たとえばサンテグジュペリの『星の王子さま』をただ読んでストーリーを理解しただけでは思考は深まらないかもしれません。王子さまが自分の星に残してきたバラとは自分にとって何だろう、狐とはどんな存在だろうと考えてみると、深まりはじめます。

A

王子さまの小さな星は一輪だけバラが咲いていました。一生懸命世話をしていましたが、バラの気まぐれな態度と言葉に振り回され、逃げるように星を出て旅をする王子さま。「王様の星」や「実業家の星」など一風変わったいくつかの星を経て地球にたどりつきます。そして何千本ものバラを見て、自分がトクベツだと思っていた一輪のバラは実はありふれた普通の花だったことを知り悲しみます。

そこへ狐が来たので、気晴らしに遊ぼうと誘いましたが、狐は「仲良くなっていないから遊ばない」と言います。狐の言う「仲良くなる」とは、絆を深め、他のものとは違う存在になること。王子さまは狐との対話を通じて、あのバラは世界に一つしかないバラだとわかるのです。

狐との別れのときになって、狐は「あんたのバラをかけがえないものにしたものは、費やした時間だ」と言い、「大切なものは目に見えない」という秘密を教えてくださいました。

(3) 作者のサンテグジュペリが作品に込めたメッセージを読み取るうとするのが「読解」です。

たとえば、大人は権力や名誉やお金などに気をとられ、本当に大切な「絆をつくること」を忘れてしまっている。絆のように目に見えない価値に気づくことで、人生を豊かにすることができるとの——。そんなメッセージを伝えているのではないか、というように考えるのです。

B

読解だけでなく、もう一步自分に引きつけて考えてみましょう。

「自分にとっての狐は昔、心に残る言葉を言ってくれた○○くんかなあ。ちょっと面倒くさいところがあって邪険※じやけんにしてしまったけれど、気乗りしなくても何かヤクソク㊦をして時間をかけることで絆をつくれたのかもしれない」

などと考えていきます。そうすることによって、物語の筋を理解しただけでは到達できない「深み」が見えてくるのです。

本を読んでいてはっとする部分があったら、きっと自分のケイケン㊧と何かつながりがあるはずです。

それを放置㊨して読み進めてしまえば、どこではっとしたか、なぜはっとしたのか忘れてしまうもの。だからメモしておくことをおすすめします。直接書き込むのでも、メモ帳でも何でもいいと思います。そのメモを手掛かりてががに、あとからまた思考を深めていくことができます。

*問題作成の都合上、文章の一部を変更しています。

(齋藤孝「読書する人だけがたどり着ける場所」より。)

〔語注〕 ※邪険…相手の気持ちをくみ取ろうとせず、意地悪くむごい扱いをすること。

問一 ―線部㊦㊧の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 空欄 A・B に入る語句として最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ たとえば ウ さらに エ それを

問三 ―線部(1)「思考を深める際」とありますが、「思考を深める」のに必要なことは何ですか。本文中から十三字で抜き出さなさい。

問四 ―線部②「仲良くなる」とあるが、狐にとって「仲良くなる」とはどのようなことですか。本文中から二十一字で抜き出しなさい。(句読点も含む)

問五 ―線部③「作者サンIIテグジュペリが作品に込められたメッセージと読み取る」とあるが、筆者は作者サンIIテグジュペリが作品に込めたメッセージをどのように読み取りましたか。本文から三十五字で抜き出し、初めと終わりの三文字を答えなさい。

(句読点も含む)

問六 本を読む中で「思考を深める」ためには、筆者は何をすべきだと述べていますか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 何度も繰り返し本を読むこと

イ 声にだしながら読むこと

ウ メモをしながら読むこと

エ 辞書をひきながら読むこと

問七 本文の中で筆者が伝えたいことは何ですか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 仲良くなることは、人それぞれに考えがあり、共有をしてはいけないということ。

イ 物語には、自分に当てはまることもあり共感できるが、大人になると忘れてしまうということ。

ウ 思考を深めることは、本を読み読解することであり物語の筋を理解することであること。

エ 読解するだけでなく、自分の経験として考えることが深めることになること。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

小学五年生のサッカー少女「高遠エリカ」は、所属していた女子チームがなくなり、練習相手を探すのにもひと苦労していた。そんな時、女子サッカー日本代表である「ミサキ」と出会う。ミサキから「自分たちのチームを作ればいい」と言われ頑張ろうと奮起するが、見学に行ったユースチームで見た同年代の男の子のプレーに圧倒され、「男の子には勝てない」と自信を失ってしまう。

図工室の窓からは明るい光がサシ込んでいる。それと一緒に低学年の子たちが、体育の授業で歓声をあげているのが聞こえてきた。エリカは年度末の展覧会に出す課題の「未来の自分」の肖像画に色をつける作業をとめて、窓の外を見た。

ラインサッカーをやっているんだ。たぶん三年生で、まだちっちゃくてかわいい。

A、と思う。

ほんの二年前、同じことをしたはずなのに、すごく前みたいだ。エリカはクラスで一番うまい男子なんて目じゃないくらいのスピードで、グラウンドをかけまわり、たくさん点をとった。女子が得点すると二点、という変なルールがあったけれど、先生はエリカだけはレイガイにした。それどころか、利き足の右ではシュートしないという制限までつけた。

今考えるとおかしいと思う。B、その時は、逆にほこらしかった。男子だって、利き足制限なんてされた子はいなかったのだから。

今、図工室から見るラインサッカーは、やはり低学年らしく、団子サッカーになっていた。

ボールをキープしたり、ドリブルしたりして、攻撃に参加しているのは、だいたいどこかのチームに入っている子だ。身のこなしを見れば分かる。

そういった子たちは、ちゃんとパスをまわすし、スペースに飛び出したりもする。B、団子になってしまうのは、守備側に固まっている女子！ それもボールを追ってじゃなくて、怖くて固まっているんだ。

なんかC。三年生なら、体の強さなんて変わらないのに、女子にはボールを怖がる子が多い。たしかに、ドッジボールで、野

球をやっている男子が思いきり投げきてたら怖いってのは分かるけど……。

なんだ、そうか、と思い当たった。うちは、気づくのが遅かっただけで、もともと①そうなるのは当たり前だったのかも、と。やっぱり、それはがっかりだ。女の子だからってだけで、男の子にかなわないなんて。

窓の外から②シセンを戻して、エリカはまた「未来の自分」の肖像画を見た。

われながら下手くそ。将来③漫画家になりたいと言っているクラスメートと比べたら、Dも当てられない。

いまのところ、色はまだ半分しか着いていない。④ハイケイの⑤芝生⑥だけだ。一応下書きをしてある自分に色を着けるのがこわい。

ユニフォームを着た十年後の自分をなんとなく⑦嘘っぽく感じてしまう。どうしても、自分のように思えない。もともと絵は苦手だけど、そういう問題じゃない。

だいたい、大人になった自分の体なんて想像できないよ。よくよく見たら、ミサキさんの体型に似ていた。ミサキさんは今のエリカよりずっと筋肉質だ。それでも、男の人みたいってわけでもない。丸みを帯びた体の線は、ごく普通に女の人っぽい。ドレスとか着たら、きっと似合うだろう。自分も⑧そんなふうになるんだろうか、と思う。

(中略)

「高遠さんは、なでしこジャパンね」

後ろから声をかけられて、エリカははっと顔をあげた。図工の先生だった。

「男子は野球選手やサッカー選手がたくさんいるけれど、女子は一人だけか。すごい夢だね。実現するといいね」

そうなのだ。ほかの女子で、スポーツ選手を描いた子はいなくて、お菓子を作るパティシエ、保育士、それと花屋さんが人気だ。

先生が歩いて行ってしまったから、もう一度自分の絵を見た。たしかに、ユニフォームは日本代表の青にするつもりだった。

でも⑨急に気が変わった。青ではなく、黄色の絵の具をパレットに出して、迷わずささっと塗った。

※ダンデライオンのたんぽぽのようにも見えたし、新東京FCのU-18、つまり高校生チーム、ヒラソルのひまわりのようにも見えた。
※ダンデライオンはこの前までの自分、ヒラソルはもしも入れたら少し先の自分。いったいどっちなんだろう。

よく分からないや。

「高遠さん……」先生の声がまた聞こえた。

「どうしちゃったの。ユニフォームの色はともかく……」

「あ」エリカは小さく声をあげた。

黄色がはみ出て、芝生まで塗ぬってしまった！ 下書きにあった体の輪郭りんかくもぼやけて、人間の体に見えない。これは絵が下手④というレベルですらなくて、集中力の問題だ。見事に、絵がだいなしだ。

エリカはうーんとうなり、しばらく、はみ出した黄色を見ていた。そして、方針を変えた。

サッカーのピッチではなく、芝生ごと花畑にして、黄色い花を咲かせる。そうすれば、失敗が目立たなくなる。先生は、⑤ため息ついただけで、何も言わなかった。

*問題作成の都合上、文章の一部を省略しています。

(川端裕人「風のダンデライオン 銀河のワールドカップガールズ」より)

〔語注〕

※ダンデライオン…高遠エリカが所属していたサッカーチーム。メンバー不足により活動停止となってしまう。「ダンデライオン」は英語で「たんぼぼ」という意味。

※ヒラソル…高遠エリカが見学に行ったユースのサッカーチーム。「ヒラソル」はスペイン語で「ひまわり」という意味。

問一 — 線部㉞㉟の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 空欄 A C に入る言葉として最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

A	ア はずかしいなあ	イ 面白いなあ	ウ くやしいなあ	エ なつかしいなあ
C	ア 珍しい	イ 寂しい	ウ 楽しい	エ 怖い

問三 空欄 B に共通して入る接続語として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア そして イ つまり ウ でも エ 例えば

問四 —線部①「そうなる」とはどうなることですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ドッジボールで男子の投げたボールを怖がるようになること。

イ 先生が自分にだけ制限をつけるのはおかしいと思うようになること。

ウ 女の子は男の子にはかなわないものなんだと思うようになること。

エ ラインサッカーをしている女子が怖くて固まり、団子になること。

問五 空欄 D には体の一部を表す漢字が入ります。適当な漢字一字を書きなさい。

問六 —線部②「そんなふう」を説明した次の文の空欄（ 1 ） ～ （ 3 ） に当てはまる言葉を文章中からそれぞれ三文字で書き抜きなさい。

○ （ 1 ） だが （ 2 ） みたいではなく （ 3 ） が似合うような女性的な体のこと。

問七 —線部③「急に気が変わった」理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 女の子であることを意識しすぎてしまい、十年後のように遠い未来の自分は想像できなくなってしまったから。

イ 図工の先生にほめられ、自分が本当に目指しているものが何なのかということに気づき、描き直そうと思ったから。

ウ ほかの女子の絵を見てみるとパティシエや保育士など「女の子らしい」ものばかり描いており、急に恥ずかしくなったから。

エ 花畑のような絵を描きたいと思い、失敗しても目立たない黄色のユニフォームが頭をよぎったから。

問八 — 線部④「これ」がさす絵はどのような絵ですか。文章中の言葉を使い説明しなさい。

問九 — 線部⑤「ため息をついただけで、何も言わなかった。」とあるが、先生がこのような行動をとった理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア せっかくほめたのにエリカが塗る場所を間違えてしまい、絵が台無しになってしまったから。

イ エリカが自分の失敗を黄色い花などで目立たなくなるようにごまかす様子を見てがっかりしたから。

ウ もっと早くエリカに声をかけてあげれば、エリカが失敗することはなかったと自分を責めているから。

エ エリカが絵を描き直したことで、自分の夢をあきらめてしまったように思えて残念に思ったから。

問十 「自信をもつために必要なこと」というテーマで、次の〈注意〉に従って、作文を書きなさい。

〈注意〉① 「題名」や「氏名」は書かず、一行目から書き始めること。

② 八行以上、十行以内で書くこと。

③ 二段落構成とし、一段落目には「自信を持つために必要なこと」を書き、二段落目には何故そう思うのか自分の体験を交えて書くこと。

④ 原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと。

三

次の問いに答えなさい。

問一 次の①～③の文の―線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① A 詩を書きウツす。 B 料理を小皿にウツす。
② A アタタかい場所。 B アタタかいスープ。
③ A 税金をオサめる。 B 国をオサめる。

問二 次の①～④の文の―線部の言葉として最も適当なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 案の定、犯人はあんのじょうに捕まった。
ア だれも知らない内に イ 思った通り ウ 思った以上に エ 無理だと思っていたが
② その連絡を聞いた全員がらくたんした。
ア 悲しむこと イ がっかりすること ウ 大喜びすること エ 笑いすぎてお腹が痛くなること
③ 将来の夢がはくぜんとしている。
ア しっかりとしている イ かくされている ウ 整理できていないでいる エ ぼんやりはっきりしないでいる
④ その人はわだたろに歩きだした。
ア ゆっくり イ 興奮して ウ びくびく エ いきなり

問三 次の文において、(1)は主語と述語をそれぞれ記号で選び、(2)は線部の言葉をくわしく説明している修飾語を全て選び、記号で答えなさい。

(1)

- ① 我が家の 犬は ご飯の 時間に なる。 甘えた 声で 鳴きます。
- ② 本校の 野球部において あなたこそ 主将に ふさわしい。
- ③ 昨日の 記事の 内容は 全て 正しいとは 言えないが だいたい 事実だ。

(2)

- ① この 消しゴムで 間違った 線を 消す。
- ② 十二時から 丘の 上の 広い グラウンドで 練習する。